

一般質問 (令和8年第3回中間市議会定例会)

令和8年6月18日

NO. 6

質問者	質問事項・要旨	指定答弁者
原口佳三	<p>1. 不登校の対策について 全国の小・中学校の不登校児童生徒数は約35.3万人と12年連続で増加しています。小・中学校全体の約3.8%が該当します。学校生活での人間関係のトラブルやいじめ、学業の遅れ、発達特性、無気力などが複合的に絡み合うといった要因があります。「無理をして学校に行かなくてもよい」という考え方が広まり、保護者や学校側の捉え方が変化したことも増加の一因とされています。</p> <p>(1) 中間市の小・中学校の不登校児童生徒数はどれくらいいますか。 (2) 中間市の不登校児童生徒の原因を把握できていますか。 (3) 不登校について、児童生徒や保護者の相談窓口を知らない方がいます。どこに相談をしたらいいのか周知をしていますか。 (4) 中間市で今、不登校児童生徒に対して行っている対応策はどんなことがありますか。 (5) 不登校児童生徒の健康診断はどうなっていますか。また、小中学校では給食が無償化になっていますが、フリースクールなどに通う児童生徒のお昼の弁当費用の補助はないのですか。 (6) 学びの多様化学校について、中間市では考えていないのですか。</p>	市 長 教 育 長 担 当 部 課 長
掛田るみ子	<p>2. 介護施設における人材不足について 介護業界は高齢化に伴う需要は増加していますが、人材不足が問題になっています。中間市の介護施設でも定数の人数はいますが、もう少し人手がほしいと言われるところもあります。</p> <p>(1) 中間市では、介護施設における人材不足を把握していますか。 (2) 中間市では人材不足の対応策を何かしていますか。 (3) 有償ボランティア(食事の配膳やレクリエーションなどといった介護資格が不要な業務)「スケッター」についてご存じですか。</p>	市 長 担 当 部 課 長
	<p>1. 国勢調査の現状分析と今後の課題について 令和7年度の国勢調査の速報値が公表されました。日本の人口は5年前に比べ309万7千人減少し、増え続けていた福岡県の人口が初めて減少に転じたと報道されていました。中間市の状況とその分析、今後の課題について伺います。</p> <p>(1) 国勢調査の中間市の速報値について (2) 速報値の数値の分析について (3) 人口減少における行政課題について</p>	市 長 担 当 部 課 長